

平成27年1月17日

世田谷区立八幡中学校
校長 大塚 久之 様

世田谷区立八幡中学校
学校関係者評価委員会
委員長 小林 寿和子

平成26年度世田谷区立八幡中学校 学校関係者評価結果について
(前年度の改善方策について実行した改善結果を含む)

本年度の学校関係者評価の結果を分析・検討し、並びに自己評価の報告を受け、以下のようにとりまとめましたので、ご報告いたします。

今回の学校関係者評価委員会の報告を次年度の学校経営にご活用いただき、八幡中学校がなお一層発展されることを委員会一同祈念いたします。

1. 調査結果の概要

昨年度より保護者・地域の回収率は、それぞれ81.9%、70.7%と昨年度より保護者は16.4ポイントと大幅増加、地域は2.4ポイント上昇した。

全体的に見て、各設問の回答から『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そう思う」)と『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」)及び『わからない』(E)に分けてその割合を比較してみると、おおむね『肯定的評価』が多い。一昨年度、昨年度と『肯定的評価』の数値が高くなってきた項目が多かったが、本年は若干「わからない」の回答が増加した。しかし全体的に『肯定的評価』が高い結果である。

昨年度の学校関係者評価の結果をうけ、今年度の改善・努力をした項目について考察し、今年度どのように評価されているか、結果と共に分析する。また、昨年の評価に比べ数値的に低くなった項目や『分からない(E)』の比率の高かった項目については、内容をよく吟味し、さらに改善・努力するとよい。

2. 調査の結果からみる八幡中学校の活動について

(1) 保護者の評価

・全47項目(共通項目)中

『肯定的評価(A「とても思う」・B「そう思う」)』

5割を超えなかったもの 0項目

5割を超えているもの 4項目

6割を超えているもの 10項目

7割を超えているもの 14項目

8割を超えているもの 18項目

9割を超えているもの 1項目

・昨年度に比べて『肯定的評価(A「とても思う」・B「そう思う」)』が増加した項目は8項目であった。

減少した項目は19項目であった。

・昨年度に比べて『否定的評価(C「あまり思わない」・D「思わない」)』が増加した項目は20項目であった。

減少した項目は4項目であった。

・他の項目は、ほぼ横ばい。(増減が2ポイント以下のもの)

< I 重点項目への取組 >

※以下、『肯定的評価(A「とても思う」・B「そう思う」)⇒『肯定的評価』と略記

※参考 昨年度(H25年評価) 46項目

5割を超えなかったもの 0項目

5割を超えているもの 1項目

6割を超えているもの 6項目

7割を超えているもの 22項目

8割を超えているもの 16項目

9割を超えているもの 1項目

注) 質問項目数は1増

「地域の期待に応え、地域とともに子どもを育てる」

- ・学校独自項目「地域運営学校である八幡中学校は、地域と協力して子どもを育てている」では肯定的評価が87%と変わらず、否定的評価は6%と2ポイント増であり、5年連続80%を超えた。

＜Ⅱ 地域とともに子どもを育てる教育＞

【保護者・地域連携】

- ・9-(1)「地域の人材や施設を教育活動に活かしている。」の項目で肯定的評価は76%と3ポイント増であった。
- ・9-(2)「地域の活動や行事によく協力している」の項目では、肯定的評価が87%と1ポイント減であった。
 - 独自項目で非常に高い評価を受けている。地域と学校との連携・協力関係は継続してよくできていると考えられる。

【学校協議会】

- ・9-(3)「学校協議会や合同学校協議会の活動が活発である」の項目は、65%が肯定的評価をしている（昨年度から11ポイント減）
 - 八幡中学校の学校協議会や合同学校協議会の活動の内容、学校としてのPRについて、「八幡中学校の主な取り組み」のお知らせがあったが理解がされていない保護者が増えた。日常的にPR活動に努めてもらいたい。

【広報活動・情報提供】

- ・8-(1)「学校からの通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている」、8-(2)「本校は、保護者に対していかに説明や対応をしている」、8-(3)「学校公開や保護者会を通して学校の様子がよくわかる」は、いずれも肯定的評価が80%以上であった（「知りたい情報」は81%と減少した）。肯定的評価が例年高い。8-(4)「本校のホームページは充実している」では肯定的評価が、55%と6ポイント下がった。HP更新の頻度が少ないように感じられていると考えられる。
 - 教員の自己評価では、教育活動の公開については肯定的評価が94%、情報発信については94%が肯定的評価であった。
 - 保護者が知りたい情報が何かを知る努力をしてくれている効果もみられるが、今後も引き続ききめ細かな情報発信を継続していただきたい。
 - 「ていねいな対応」については引き続き高評価である。
 - 保護者はホームページで確認したい人もいる。保護者が見たい情報を回数や頻度を多くUPするとよい。「そう思わない」「わからない」という評価を改善していくための工夫と、特に行事後のUPを引き続き迅速にしていけるとよい。

＜Ⅲ 未来を担う子どもを育てる教育＞

【学習指導】

- ・1-(1)「本校では、子どもにとって分かりやすい授業をしている」は70%、1-(2)「本校は授業を通して、子どもたちに学力がついている」の肯定的評価は4ポイント減、1-(3)「通知表で評価されたことは納得できる」は変化なしであった。「わかりやすい授業」については70%になり4ポイント減であった。1-(4)「本校では授業の開始・終了時間を守って授業が行われている」は肯定的評価が71%と8ポイント下がった。
 - 保護者の肯定的評価は若干下がったので引き続き努力してほしい。教員の自己評価は毎年高評価である。

【生活指導】

- ・どの項目も肯定的評価が伸びて高いが、2-(1)「ルールを守る……指導」の項目は肯定的評価が86%と依然として高い。
 - ルールについての指導や問題となる行動が少ないことについての評価が高い。問題行動をなくすことと合わせ、さらに保護者が相談しやすい環境をさらに整えていくことを期待する。

【学校行事】

- ・どの項目も肯定的評価が高いが、3-(1)「子どもたちが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している」は87%で1ポイント増、3-(2)「子どもたちは学校行事を楽しみにしている」は91%となった。
 - 継続して評価がとて高い。今後も引き続き維持して欲しい。

【健康・体力】

- ・11-(4)「本校では、健康の増進や体力の向上に取り組んでいる」では肯定的評価は71%と5ポイント増

加した。

- 引き続き地域や小学校と協力した体力向上を図る具体的な取り組みを期待する。地域クラブとしてのサッカーや野球部の取り組みは引き続き行ってほしい。

【キャリア教育・進路指導】

・進路指導については1項目以外の項目で、昨年度よりやや数値が低くなった。

- 進路指導・キャリア教育について学校側はより詳細に説明し、理解してもらう努力をしてくれているが、より一層の努力を要する。

【部活動】

・「回数や時間は適切である(69%)」は2ポイント、「学校全体で部活動を活発にしようと努力している(71%)」も2ポイント下がった。しかし「入りたい部活がある(68%)」は1ポイント上がった。

- 生徒のアンケート結果は高く、努力している様子がうかがえるが、部活の活動時間は冬時間の設定を希望するという意見があった。

＜Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくり＞

【学校経営・学校運営】

・(3)「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる(78%)」6-(2)「校長のリーダーシップ」については、58%が肯定的評価であった。6-(1)「学校の重点目標が明確(77%)」は2ポイント上がった。

【教職員】

・7-(1)、(2)共に『肯定的評価』は引き続き80%を超えており、教員の対応については概ね理解されている。特に「マナーを身に付けている」は80%と1ポイント下がったが、80%以上と高ポイントである。

- 校長が交替し、経営方針等、保護者・地域に浸透していないと考えられる。学校運営、教職員について、評価が高いことから、今後もさらに継続した対応を期待する。

【保健管理】【安全管理】

・安全についての指導や避難訓練については、安全性を高めていると肯定的評価をしているのは85%と7ポイント上がった。また、10-(2)「安全確保のための情報提供」も78%で7ポイント増。10-(3)「災害時の対応を保護者に周知している」は87%で13%も上昇した。反面、10-(4)「施設の安全は確保されている」では肯定的評価は57%で、前年度と同じ、10-(5)「環境や給食等への衛生面の配慮」は肯定的評価が68%と、3ポイント下がった。

- 本年度も昨年同様、震度5弱以上の地震を想定して、生徒の留め置き引き取り訓練を行った。また引き取り訓練は引き取り希望を当日も調査し、丁寧に行った。さらに緊急メールの活用を図り安全の確保に努めた。施設の安全面の改善のためには、教育委員会への働きかけが引き続き必要である。また、耐震工事が終了しているなどの安全に関してのPRや、何の安全性を求めているのかを尋ねることも引き続き必要であろう。

＜Ⅴ 教育環境の整備＞

【施設設備】

- 自己評価によると、整備状況は肯定的評価が67%、点検・管理は89%が肯定的評価である。

＜Ⅵ 学校生活全般＞

・学校生活全般については昨年度と同様に比較的肯定的評価は高い。

- 「子どもは学校生活が楽しいと感じている」の肯定的評価が89%(2ポイント増)。「活気がある」(87%で昨年度と変化なし)。最も重要な項目が依然と高く、非常に良い。楽しんで学校に来られていることが最も大切なことである。

＜学校独自項目＞

・12-(1)「地域運営学校である八幡中学校は、地域と協力して子どもを育てている」では87%(昨年度と変化なし)が肯定的評価をしており依然と高い。

- ▶ 具体的な取り組み内容を伝えていった結果と考えられる。
- ・12-(2)「学校は生徒に地域清掃などボランティア活動の機会を提供し、生徒は積極的に参加している。」では88%という高ポイントである。
 - ▶ ボランティア活動の意識の高さがわかる。引き続き機会の提供を期待する。
- ・12-(3)「学校は『確かな学力を育成する学校』として放課後補習教室や質問教室、土曜講習会、検定対策講習、夏季補充教室、テスト前の質問教室等の機会を提供している事を知っている。」では71%という高いポイントである。
 - ▶ 学習する機会が多い事は多くの保護者が理解している。引き続き機会の提供を期待する。

(2) 地域の方の評価

- ・全24項目中『肯定的評価（A「とても思う」・B「そう思う」）』

5割を超えなかったもの	0項目
5割を超えているもの	2項目
6割を超えているもの	6項目
7割を超えているもの	3項目
8割を超えているもの	7項目
9割以上のもの	5項目

※参考 昨年度（H25年評価）23項目

5割を超えなかったもの	1項目
5割を超えているもの	1項目
6割を超えているもの	3項目
7割を超えているもの	4項目
8割を超えているもの	2項目
9割を超えているもの	13項目

- ・昨年度に比べて『肯定的評価（A「とても思う」・B「そう思う」）』が増加した項目は5項目であった。
減少した項目は11項目であった。
- ・昨年度に比べて『否定的評価（C「そう思わない」・D「思わない」）』が増加した項目は14項目であった。
減少した項目は3項目であった。
- ・他の項目は、ほぼ横ばい。（増減が2ポイント以下のもの）

＜Ⅰ. 重点項目への取組＞

「地域の期待に応え、地域とともに子どもを育てる」

- ・学校独自項目「地域運営学校である八幡中学校は、地域と協力して子どもを育てている」では肯定的評価が93%、否定的評価は7%だった。
 - ▶ 昨年度と肯定的評価がほぼ同じであった。学校の取り組み状況がよく伝わっていると考えられる。

＜Ⅱ 地域とともに子どもを育てる教育＞

【広報活動・情報提供】

- ・4-(1)「学校からのお知らせや学校便りなどにより、学校の様子がよくわかる」（89%、6ポイント減）、4-(2)「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよくわかる。」（90%、1ポイント減）、4-(3)「学校は地域に向けて学校の良い点などの情報提供をしている」（79%、12ポイント減）。『肯定的評価』は高い。4-(4)「学校のホームページは充実している」については、『肯定的評価』が62%と8ポイント増えた。4-(5)「学び舎」の活動については、『肯定的評価』が66ポイントと昨年度より4ポイント減少した。
 - ▶ 努力の結果が実っている。情報提供については特に不満があるというわけではないようである。「学び舎」の情報については、ホームページの充実を中心に今後も工夫・改善の努力を望む。

【地域との連携】

- ・5-(1)「地域の人材や施設を教育活動に活かしている」の項目では、『肯定的評価』は昨年より7ポイント上がった。（71%）。
- ・5-(2)「学校は、地域の活動や行事によく協力している」では93%と昨年度より評価を2ポイント下がったが、肯定的評価が非常に高い。
- ・5-(3)「学校協議会や合同学校協議会が十分機能している」の項目では、『肯定的評価』は57%と5ポイント下げた（昨年度62%）。昨年同様「学校運営委員会」「学校関係者評価委員会」など、学校に関わる委員会の種類や機能が十分説明できていない面もある。八幡中学校の「学校協議会」としての独自の活動内容をさらに知らせていくとよい。

- ▶ 昨年同様、学校協議会の機能や活動内容・学校運営委員会との違いなどの説明がまだ不足している。引き続き広報を充実させていくよう努力を続けてほしい。アンケートの際に活動の様子を伝えるプリントを配布しているが、そのプリントに学校協議会の説明なども載せ理解を深める工夫をしてほしい。この質問では、学校協議会の中味が伝わらないとも考えられる。
- ・5-(4)「学校運営委員会は十分機能している」の項目では、『肯定的評価』は57%と12ポイント上げた(昨年度45%)。しかし「学校運営委員会」など、学校に関わる委員会の種類や機能が十分説明できていない面もある。八幡中学校の「学校運営委員会」としての活動内容をさらに知らせていくとよい。
- ▶ まだまだ、学校運営委員会の機能や活動内容などの説明がまだ不足している。引き続き広報を充実させていくよう努力を続けてほしい。

<Ⅲ 未来を担う子どもを育てる教育>

【生活指導】

- ・1-(2)「本校では、子どもたちに問題となる行動が少ない」は前年度より5ポイント『肯定的評価』が下がった。(86%)。
- ・1-(1)「本校の生徒は社会のルールを守っている」は1ポイント減(86%)。1-(3)「本校の教員は、子どもたちのよき手本になっている」は、昨年度より『肯定的評価』は13ポイント下がった(62%)。
- ▶ 「子どもたちのよき手本」についてはさらなる改善が望まれる。肯定的評価が100%になるように努力が必要である。

【学校行事】

- ・2-(2)「事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある」2-(3)「学校行事のときに地域はとても協力的である」の項目では、『肯定的評価』が少し上がった。(それぞれ89%(2ポイント減)、83%(8ポイント減))
- ・2-(1)「学校行事の内容は充実している」は2ポイント下がり89%である。
- ▶ 行事についてはすべて80%を超え高水準である。努力の様子がよく伺える。今後も続けてほしい。

<Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくり>

【学校運営】

- ・3-(2)「校長はリーダーシップを発揮している」は62%となった。3-(4)「本校の教職員は、社会人としてのマナーを身に付けている」の項目は、『肯定的評価』は79%であった。3-(3)「地域の意見に対して、学校は丁寧に説明・対応している」(69%)は6ポイント減。3-(1)「学校の重点目標が明確である」は1ポイント下がったが90%である。
- ▶ 学校に対する理解が概ねできているように考えられる。

【安全管理】

- ・6-(1)「本校は、安心・安全な学校づくりを進めている」は89%と昨年より2ポイント下がり、6-(2)「本校は安全性を高めようと、積極的に地域と協力している」は69%で昨年より14ポイント下がった。6-(3)「本校では学校施設の安全性は確保されている」は72%の『肯定的評価』であり、10ポイント上昇した。6-(3)「本校では学校施設の安全性は確保されている」は、「わからない」が15%であった。
- ▶ 安全管理については、「わからない」が多いため、学校施設の安全についての広報活動が必要と考える。

<Ⅴ 学校生活全般>

<学校独自項目>

- ・学校独自項目の7-(1)「地域運営学校である八幡中学校は、地域と協力して子ども育てている」は93%と肯定的評価が依然と高い。活動や努力の様子がよく伝わっていると思われる。
- ・7-(2)「世田谷9年教育パイロット校の指定を受け、小学校との連携を深め、地域の教育力と特色を生かした教育活動を展開している」でも100%と肯定的評価が非常に高い。

＞ 地域との連携活動がよく理解されているとともに、よくがんばっているという評価である。

(3) 生徒の評価

・全22項目中『肯定的評価（A「とても思う」・B「そう思う」）』

5割を超えなかったもの	0項目
5割を超えているもの	1項目
6割を超えているもの	5項目
7割を超えているもの	9項目
8割を超えているもの	10項目
9割を超えているもの	2項目

※参考 昨年度（H24年評価）24項目

5割を超えなかったもの	1項目
5割を超えているもの	1項目
6割を超えているもの	7項目
7割を超えているもの	7項目
8割を超えているもの	8項目
9割を超えているもの	0項目

・昨年度に比べて『肯定的評価（A「とても思う」・B「そう思う」）』が増加した項目は12項目であった。
減少した項目1項目であった。

・昨年度に比べて『否定的評価（C「そう思わない」・D「思わない」）』が増加した項目は8項目であった。
減少した項目は1項目であった。

＜Ⅰ. 重点項目への取組＞

1 「質の高い学級、まとまりのある学年をつくり、一人一人の可能性を広げる」

・7-(3)「毎日の学校生活が楽しい」の項目で肯定的評価が79%であった。数値目標の100%から少し遠のいた。今年度の課題である。

＜Ⅱ 地域とともに子どもを育てる教育＞

【保護者・地域連携】【学校協議会】【広報活動・情報提供】

＜Ⅲ 未来を担う子どもを育てる教育＞

【教育課程】

・学習指導 1-(4)「先生は、開始・終了時間を守って授業をしている」は71%と『肯定的評価』は昨年と同じだが、否定的評価はまだ27%（2ポイント増加）ある。

＞ 肯定的評価が70%を超えているが、もう少し努力が必要である。

・1-(1)「授業の内容はよく理解できる」（84%、横ばい）1-(2)「わかりやすい指導」（87%、4ポイント増）で8割を超えていてほぼ変化がない。(3)「通知表の評価は納得できる」では、『肯定的評価』は昨年度より8ポイント上がった（77%）。『否定的評価』も20%と、5ポイント下がった。

＞ 評価については授業や保護者会などでの説明がよく理解されてきていると思われるが、さらに工夫し、毎年繰り返し理解を深める必要がある。特に5段階評価が初めての1年に対しては丁寧に説明が必要である。

・生活指導 すべての項目で『肯定的評価』が80%を超え、教員の指導についておおむね納得していると見られる。特に「自分の行動・・・」は92%と9割を超えた。

・学校行事 すべての項目で『肯定的評価』が下がったが、ほぼ80%である。

・進路指導（キャリア教育） すべての項目で『肯定的評価』が上がり、「将来について考える授業・・・」は86%となった。しかし、(3)「進路に関する情報を十分提供してくれる」についての否定的評価は28%と、まだ十分でないと考えている生徒が多い。生徒のほしいと思う情報とのくい違いは何かを探る必要がある。学年による興味・関心の度合いの違いも考えられる。

＞ キャリアについては、折に触れて、意識付けが大切である。普段は進路のことを中学生は考えていないのが当たり前である。

「進路だよりジュニア」などで将来について考えるチャンスを与えるのはよい。また、職場体験や職場訪問実施直後などアンケートの実施時期によっても数値は変わると思われる。

【部活動】

・5-(1)「部活動は充実している」(2)「部活動の回数や時間はちょうどよい」(3)「入りたい部活動がある」の項目で『肯定的評価』の回答は、昨年度とほぼ同じである。原因を調査し改善が必要である。

<Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくり>

【教職員】

- ・6-(1)先生はいつも熱心に指導してくれる(2)「先生は誰に対しても公平である」(3)「よく私の話を聞いてくれる」についての『肯定的評価』は前年度と比べ全て上がっている。「公平」感については、肯定評価は否定的評価より20%多い。(56%)。
- ▶ 1年生の肯定的評価が若干低いのは中学校の教育方法に慣れていない面が浮かび上がっている。先生は熱心であり、指導に納得できるが、公平ではないという気持ちの裏返しは、自分のことを分かってほしい、気持ちを聞いてもらいたいということであると思う。個々の生徒の感じ方にもよるが、何を不公平と思っているのか、一人ひとり丁寧に耳を傾ける接し方を期待する。

<Ⅴ 教育環境の整備>

(保護者の欄と同様)

<Ⅵ 学校生活全般>

- ・7-(1)毎日の学校生活が楽しい」が79%でほぼ横ばいである。(2)「八幡中学校が好きである」は83%と『肯定的評価』が昨年度を6ポイント上がった。約8割の生徒は学校が肯定的に見ている。毎日楽しい事ばかりではないが、全体的には学校が楽しいと感じているようである。

<学校独自項目>

- ・読書に関する調査では、肯定的評価が2ポイント上がった(71%)。ボランティア活動については昨年度初めての項目であるが68%の生徒が積極的にかかわっている。「学級や学年はお互いに助け合い、まとまりがある」については、80%と高調であった。
- ▶ 「学年のまとまり」については、1年生の数値がやや低く3年生が高い。学芸発表会など中学校のクラスのまとまり方にだんだんなじんでいく面がうかがえる。

3. 昨年度の評価で改善・努力をした点

【学習指導について、授業改善をすすめるとともに、学習習得状況を調査・分析し、指導に生かした。】

全校で授業方法や教材の工夫・改善をさらにすすめ、生徒の知的好奇心を湧かせる授業、分かったと実感できる授業を実践することに努めた。

また、毎年4月に学習状況確認のための調査を、全学年で実施し生徒の課題分析に努めた。3年生は、9月と10、11月にも秋調査を実施した。さらに、自ら進んで学力向上に励む生徒を育てるため、数学検定や英語検定対策としての土曜講習や、3年生の進路対策としての数学・英語の朝学習や土曜講習会を7月以降実施した。定期テスト前には各教科質問教室を開き、生徒の疑問点に答えテスト準備に援助を行った。夏休みには希望者と、選出した生徒のうちの希望者を対象に夏休み補充教室を開き学力の補充を、数学・英語に関しては放課後週1回づつ放課後教室で学習しやすい環境作りに努めた。

また、小学校との連携のもと、学習確認会議を3回行った。学習確認会議では、前年度までの学習習得状況調査の結果と本年度の結果を比較・分析し、各学年の傾向と課題を検討し、具体的な改善のための具体策を提示した。両小学校と連携して、「ことばの力」をキーワードに授業の具体的な工夫・改善、連携した取り組みを進め、11月7日に八幡小学校において3校の教員が協力してつくった指導案をもとに研究発表を行い授業力の向上に努めた。引き続き「学習・生活スタンダード」を小中連携して行い、学習環境の統一を図った。

生徒一人一人については、調査結果をもとに、夏期休業中や2学期の面談を通して個別に学習のアドバイスを行った。学習指導について、生徒の肯定的評価が80%を超えている。

【進路指導について、適切な情報を適切な時期に提供するよう努めた。】

1・2年生には「進路だよりJr」、3年生には「進路だより」、全学年保護者には進路説明会への参加を通じて進路に関わる情報提供を進めるとともに、相談にのった。生徒については肯定的な評価が10ポイント上

がった。情報に関しては「たより」の内容や発行時期・回数についての工夫が必要である。

【部活動について、一層の活性化に努めます。】

部活指導員の配置により、部活動の現状維持を図っている。生徒の肯定的評価は横ばいだったので、期待に応えることができるように努力の継続を望む。

【先生について、教員の対応について、きめ細かく丁寧な指導や対応に努めます。】

生徒一人一人に丁寧に、きめ細かく指導したり、丁寧に相談にのることを継続して努力した。「熱心な指導」について、生徒・保護者ともに肯定的評価が高まったが、公平感については11ポイント上昇したがまだ低調な評価であった。特に学年により差があり、1年生が低いのは中学校の指導に不慣れなためと考えられるので丁寧な指導等の方策を考える必要がある。

【地域との連携について、学校全体で参加意欲の向上を図った。】

数値目標にボランティアに参加する生徒の割合を70%以上にするを掲げ、生徒会を中心にボランティアカードを作成し、参加の意欲を高める活動をした。多数の生徒がボランティア活動に参加した。教員もいずれかの地域行事には必ず参加し、連携を図った。

地域の支援活動はC組の買い物・調理支援や各種検定・検定対策講習会等の学習支援、学校環境整備やおやじバンドなど多岐にわたって他校に例を見ないほど手厚くされているが、反面、活動内容については、まだまだPRが足りない。PRにもう少し努力や工夫が必要である。

【小・中の接続プログラムの取り組みを実践し、小・中の連携を深め、中学校の広報に努めた。】

生徒会役員が2小学校の朝礼に2度ずつ参加し、運動会や学芸発表会のPRを行った。また校長が小学校4年生以上の保護者会に参加し、出前の学校説明会を行った。昨年度初めて八幡中においての学校説明会を11月に行った。2月には新入生保護者説明会も行う。11月の学校説明会の日に全部活動による、小学校5年生全員対象の部活動体験を行っており、小学校の児童・保護者に変好好評であった。「世田谷9年教育」研究指定校としての活動が、保護者・地域によく理解され、肯定的評価は高い。反面、生徒の肯定的評価は下がり、数値としては低調である。生徒に対するPRも引き続き必要である。

【生活指導について、保護者・地域と協力しながら努力した。】

生徒が落ちついて学校生活を送れていると感じられていると考えられる。地域については肯定的評価が上がっている。しかし「教員は生徒の手本となっている」という地域の肯定的評価は13%も下降した。このことは地域防災訓練などに教員が多く参加し地域との連携が進んでいるため、教員の至らない点も見えてきたと思われる。協力関係づくりは今後も進めていく。

4. 課題と思われる点について

・学習指導について

生徒は肯定的評価が若干上がったのに対し、保護者の肯定的評価は若干下がった。保護者では、「学力がついている」の項目で肯定的評価が66%になったので、もう少し努力してほしい。生徒に関しては「通知表の評価」については否定的評価がまだ23%ある。特に第2学年で評価が少し低い。より納得のいく説明を心がけていくと良い。

・進路指導（キャリア教育）について

評価はやや横ばいであるが、生徒の「先生と相談する機会」については、否定的評価が22%に下がったがまだ多い。生徒は、もっと相談にのってほしいと感じていると昨年度に引き続きうかがえる。情報提供の工夫も含めて話を聞く機会をつくっていく工夫が必要である。

また、面談の際厳しい言葉だと学習意欲がなくなるので、希望の持てるような励ましの言葉で、生徒の学習に対してのやる気を出させてほしい。面談の際の言葉づかいの配慮をより一層求める。

・学校の安全性について

保護者・地域の「施設の安全性」については、上昇してきているが例年肯定的評価の数値が低い。老朽化している校舎や耐震性についての不安があると考えられるが、耐震工事は完了しておりPR不足が考えられる。PRをする必要がある。「災害時の対応の周知」は肯定的評価が87%と昨年より上昇した。

「情報提供」についても昨年度より7%上昇した。保護者への十分な情報を発信するための工夫を引き

続き行う必要がある。

・生徒に対して

「公平感」についての評価が昨年度より上昇したとはいえまだ低い。「先生は熱心に指導している」という項目の肯定的評価は80%なので、客観的には教師の指導に対して肯定的であるが、いざ自分の事となると素直に受け取れない面があるのかと分析できる。今後はひとりひとり丁寧に話を聞き、生徒の不満感の解消に努める必要がある。

「小学校との交流」「進路情報関連」の項目について、評価が引き続き低い。実際には、学校はどれもよく努力しているが、内容について、もっと生徒にPRすると良いだろう。

・例年課題となることは本年度もやはり肯定的評価が低いものが多く、具体的な取り組みの工夫がさらに必要である。

5. 学校関係者評価委員会としての提言

*昨年度との比較検討をしてみた。本年度は、上昇した項目が多いが、若干下がっている項目が若干見られるという結果である。特に最も重要と考える生徒の「学校が楽しい」肯定的な評価が高いことは、とても素晴らしいことである。「学校が好きである」という項目は肯定的評価が83%と昨年より6ポイント上昇し8割以上が好きと答えている。他の低調な数値の項目はさほど気にすることはないように思われる。「うちの学校はよい」と自信をもって、小学校へもアピールしてほしい。

ホームページでも、部活動や特別支援学級の活動の様子などを載せているので、さらにPRや保護者会のお知らせなどをアップすることを望む。より一層の充実を望む。

*「先生は、誰に対しても、公平である。」という項目の肯定的評価が56%と6割以下、「先生は、よくわたしの話を聞いてくれている。」という項目の肯定的評価が71%ということから、生徒が教員と話したい、自分のことを理解してほしいと思っていることが依然として強く表れている。丁寧に生徒一人一人と教員が話すための時間や機会を意識的に作り出すことが非常に必要と思われる。

*肯定的評価の数値は高いが、まだもの足りない数値の事柄がある。比較的否定的評価が高い、あるいは「わからない」という評価が高い事柄を見てみると、生徒や保護者とのコミュニケーションをとる物理的な量（時間、場所）を多くすることで、解決されるのではないかとと思われる点は、引き続き同様である。

*「小学校との連携」の保護者・地域の肯定的な評価が高いことは、とても良い。公立学校の良い所をさらにPRしてほしい。反面学び舎の小学校についての情報提供については改善の余地があるが、小学生がいない家庭に学び舎の小学校に興味を持ってもらうのには保護者の意識改革も必要でありPTAの協力も非常に重要である。

*「八幡中学校独自設問」では、「地域運営学校としての地域との協力」や「世田谷9年教育研究指定校としての取り組み」について、『肯定的評価』が昨年度から継続してとても高い。地域運営学校として理解・評価されてきている。さらに理解を深め、協力いただけるように現在の学校の取組を継続、発展させていく活動を期待する。また、学校協議会・合同学校協議会の取り組みの内容については素晴らしい活動をされているので、よくわかるように広報していくことが今後の課題である。

「授業以外の質問教室等の認知は保護者も生徒も高いので、生徒に積極的に参加するように学校がPTAと共に協力していくことが必要である。

*学習活動、行事や部活動に対しての取組を充実させることが、学校生活全般を高めることに繋がる。肯定的評価が、保護者・生徒ともに高い項目については、素晴らしい結果である。親子の対話や良い関係が築かれていることが想像できる。

*検討を要する点は、校内で十分に検討し、具体的な工夫・改善が図れるよう要望する。また、校内でできないことは、区教育委員会へ改善を求めてほしい。アンケートの意義として、区教育委員会としてどのように活かすのか、どう改善したのかがわかると良い。